

「使用上の注意」改訂のお知らせ

持続性 Ca 拮抗剤

処方箋医薬品^{注)}

日本薬局方 アゼルニジピン錠

アゼルニジピン錠 8mg 「日医工」

アゼルニジピン錠 16mg 「日医工」

製造販売元 日 医 工 株 式 会 社
富 山 市 総 曲 輪 1 丁 目 6 番 21

注) 注意－医師等の処方箋により使用すること

この度、上記製品において、「使用上の注意」の一部を改訂（下線部）しましたので、お知らせ申し上げます。今後の弊社製品のご使用に際しましては、下記内容をご高覧くださいますようお願い申し上げます。

<改訂内容>（.....：自主改訂）

改訂後			改訂前																										
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1～2.2 省略（変更なし） 2.3 イトラコナゾール、ミコナゾール（経口剤、注射剤、口腔用剤）、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ポリコナゾール、ボサコナゾール、HIV プロテアーゼ阻害剤（リトナビル含有製剤、ダルナビル含有製剤）、コビシスタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、クラリスロマイシン、セリチニブ、ツカチニブ エタノール付加物、ロナファルニブを投与中の患者			2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1～2.2 省略 2.3 イトラコナゾール、ミコナゾール（経口剤、注射剤、口腔用剤）、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ポリコナゾール、ボサコナゾール、HIV プロテアーゼ阻害剤（リトナビル含有製剤、ダルナビル含有製剤）、コビシスタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、エンシトレルビル フマル酸、クラリスロマイシン、セリチニブを投与中の患者																										
10. 相互作用 省略（変更なし） 10.1 併用禁忌（併用しないこと） <table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td>以下のアゾール系抗真菌剤 省略（変更なし）</td><td colspan="2">省略（変更なし）</td></tr><tr><td>HIVプロテアーゼ阻害剤 省略（変更なし）</td><td rowspan="5">本剤の作用が増強されるおそれがある。</td><td rowspan="5">これらの薬剤が CYP3A4 を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。</td></tr><tr><td>クラリスロマイシン クラリス、クラリシッド</td></tr><tr><td>セリチニブ ジカディア</td></tr><tr><td>ツカチニブ エタノール付加物</td></tr><tr><td>ツカイザ ロナファルニブ ゾキンヴィ</td></tr></table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	以下のアゾール系抗真菌剤 省略（変更なし）	省略（変更なし）		HIVプロテアーゼ阻害剤 省略（変更なし）	本剤の作用が増強されるおそれがある。	これらの薬剤が CYP3A4 を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。	クラリスロマイシン クラリス、クラリシッド	セリチニブ ジカディア	ツカチニブ エタノール付加物	ツカイザ ロナファルニブ ゾキンヴィ	10. 相互作用 省略 10.1 併用禁忌（併用しないこと） <table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td>以下のアゾール系抗真菌剤 省略</td><td colspan="2">省略</td></tr><tr><td>HIVプロテアーゼ阻害剤 省略</td><td rowspan="3">本剤の作用が増強されるおそれがある。</td><td rowspan="3">これらの薬剤が CYP3A4 を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。</td></tr><tr><td>クラリスロマイシン クラリス、クラリシッド</td></tr><tr><td>セリチニブ ジカディア</td></tr></table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	以下のアゾール系抗真菌剤 省略	省略		HIVプロテアーゼ阻害剤 省略	本剤の作用が増強されるおそれがある。	これらの薬剤が CYP3A4 を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。	クラリスロマイシン クラリス、クラリシッド	セリチニブ ジカディア
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																											
以下のアゾール系抗真菌剤 省略（変更なし）	省略（変更なし）																												
HIVプロテアーゼ阻害剤 省略（変更なし）	本剤の作用が増強されるおそれがある。	これらの薬剤が CYP3A4 を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。																											
クラリスロマイシン クラリス、クラリシッド																													
セリチニブ ジカディア																													
ツカチニブ エタノール付加物																													
ツカイザ ロナファルニブ ゾキンヴィ																													
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																											
以下のアゾール系抗真菌剤 省略	省略																												
HIVプロテアーゼ阻害剤 省略	本剤の作用が増強されるおそれがある。	これらの薬剤が CYP3A4 を阻害し、本剤のクリアランスが低下すると考えられる。																											
クラリスロマイシン クラリス、クラリシッド																													
セリチニブ ジカディア																													
			←追記																										

<改訂理由>

- ・相互作用相手薬の「使用上の注意」との整合を図るため、**2. 禁忌**及び**10.1 併用禁忌**に「ツカチニブ エタノール付加物、ロナファルニブ」を追記しました。

<GS1 バーコード>

最新の注意事項等情報につきましては、添付文書閲覧アプリ「添文ナビ^{てんぶん}®」で下記 GS1 バーコードを読み取ることで、スマートフォンやタブレット端末でご覧いただけます。

なお、「添文ナビ^{てんぶん}®」アプリにつきましては、ご使用になれる端末に合わせて「App Store」または「Google Play」よりダウンロードしてください。

アゼルニジピン錠「日医工」



今回の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE (DSU) 医薬品安全対策情報 No.348」(2026 年 9 月発行)に掲載の予定です。

また、改訂後の電子化された添付文書は医薬品医療機器総合機構ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>) ならびに弊社ホームページ「医療関係者の皆さまへ」(<https://www.nichiiko.co.jp/medicine/>)に掲載されます。